

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	相模湖交流センター		
所在地	神奈川県相模原市緑区与瀬259-1		
サイトURL	http://www.sagamiko-kouryu.jp		
根拠条例	神奈川県立相模湖交流センター条例		
設置目的(設置時期)	水源地域の活性化を図り、多様な交流活動の場を提供するための施設として設置(平成12年4月)		
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	施設所管課	土地水資源対策課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>施設の維持管理は適切に行われており、メイン施設の利用状況及び利用者数については、指定管理者の魅力ある自主事業の開催により良好である。また、利用者の満足度調査においても、毎年前年度を上回る評価を得ており、サービスの向上が図られている。更に収支状況については、指定管理料等の収入に合わせ、適切に支出されている。</p> <p>3項目評価については、利用状況、利用者満足度、収支状況の結果からA評価となった。</p> <p>なお、次期指定期間(平成28～32年度)についても、同社を当施設の指定管理者として指定していることから、引き続き利用者への配慮ある施設運営に努めながら、水源地域の交流拠点として効果ある自主事業を開催し、更なる利用率の向上及び平成27年度の利用者数を上回るよう取り組んでほしい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づき、施設の適切な維持管理を行い、多目的ホール、アートギャラリー等の貸出し業務、利用の促進に関する業務等を実施した。 主要な施設である多目的ホール及びアートギャラリーの利用率(利用日数/利用可能日数)は、多目的ホールは91.23%、アートギャラリーは67.21%となるなど、実績をあげた。 また、施設の設置目的を踏まえた多様な自主事業を行っており、指定管理者提案時の計画23回を上回る44回の自主事業を実施し、館の価値向上に努めている。</p> <p>◆利用状況 今年度の利用者数は、昨年度より2,662人増加し、前年対比で4.9%のプラスとなりA評価となった。 また、目標値を設定しているホールとギャラリーの利用率については、ホールは80%の目標に対し91.23%と大幅に上回り、ギャラリーは65%の目標に対し67.21%と上回った。平成23年度から利用率は年々向上しており、質の高い自主事業を行うことで多くの人に来館してもらい、それをきっかけに地元団体の利用が増加するなど、実績を上げている。</p> <p>◆利用者の満足度 平成27年度に実施した自主事業のうち、33事業について満足度調査を行ったところ、上位2段階の回答割合が85.4%でありA評価となった。毎年、前年を上回る評価となっている。</p> <p>◆収支状況 収支状況については、指定管理料等収入の範囲で適切に支出されており、収入合計/支出合計の比率は100%となりA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情などは見受けられなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等 特になし</p>	

3項目評価	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要
A	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	特になし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成27年12月3日 (備品の確認) ※この他、年数回催しものの 状況視察等を実施	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
管理施設の維持管理に関する業務 ①保守管理業務 ②環境維持管理業務 ③安全管理業務	設備の保守点検や清掃業務など、定められた実施回数を実施した。 また、危機管理マニュアルに基づいた安全管理を心掛け、年2回(10月と3月)防災訓練を実施した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
運営に関する業務 ①管理施設及び設備の貸出し業務 ②利用の承認業務 ③利用承認の取消し業務 ④管理施設の利用案内に関する業務 ⑤利用者との事前調整業務 ⑥駐車場の管理業務	施設及び設備の貸出、承認業務、駐車場の管理業務は条例・規則に従い円滑に実施した。施設及び設備の貸出しにあたっては、利用者との事前打合せを十分に行い、利用者のニーズに適切に対応した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
利用料金の徴収に関する業務	施設利用者に施設・設備の利用料金はキャンセルによる払い戻しが出来ない旨の説明を徹底し、施設・設備の利用料金の事前徴収を条例どおり円滑に遂行した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
利用の促進に関する業務 ①利用者数及び利用率の向上に関する業務 ②広報、情報提供に関する業務 ③利用統計に関する業務	相模湖駅前に交流センター情報掲示板を設置して、施設案内等の情報を提供するとともに、ホームページ、折込チラシ、インターネット広告の活用等により、利用者の誘致を図った。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
効果的・効率的な運営に資するために必要な業務 ①事業計画、人員配置計画及び収支計画の作成に関する業務 ②業務日報の作成に関する業務 ③月例業務報告書の作成に関する業務 ④利用者満足度調査の実施に関する業務 ⑤実績報告書の作成に関する業務	「事業計画、人員配置計画及び収支計画」、「日報」、「月報」、「実績報告書」については、期限を遵守し作成した。 また、自主事業のイベント毎に利用者満足度調査を実施し、今後の運用の参考としている。	それぞれ各報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
平成27年度は、多様な交流、水源地の自然と人との触れ合いなどをテーマに、年間44回の自主事業計画を立てて実施。	多目的ホールにおいてはコンサート等20回、ギャラリーにおいては展示会等16回、研修室においては囲碁・将棋を楽しむ会等8回のイベントを開催し、計画どおり44回の自主事業を実施し、8,184人の来館があった。
「加藤訓子プロジェクトIX」の開催。 (多様な交流をテーマとした事業の一例)	パーカッショニストとして世界的な評価を得ている加藤訓子さんの最新作『IX』は、この相模湖交流センターで録音されたものであり、録音時と同じ音響環境による発売記念コンサートを開催(5/1～5/3)し、計428名の来館があった。
「ダムマニア展」の開催。 (水源地の自然と人との触れ合いをテーマとした事業の一例)	過去2回開催したイベントが好評であったため、参加者の要望に応じて第3回目を開催(8/4～8/16までの12日間)し、計2,468名の来館があった。 参加者は全国から集まり、ダムトークライブ、ダム放流映像やダム写真展などの他にダムカレー施工教室を実施した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	49,659	54,491	57,153
対前年度比		109.7%	104.9%
目標値	—	—	—
目標達成率			

目標値の設定根拠： ※定めていない。

利用者数の算出方法(対象)： 施設の正面出入口に設置したセンサーによりカウント。

※ホール及びギャラリーの利用率目標値 ホール80%、ギャラリー65%(利用があった日数/利用可能日数)

平成27年度年間実績 ホール91.23%(260日/285日)、ギャラリー67.21%(207日/308日)

[参考：最大利用可能人数/年]

	多目的ホール	研修室A	研修室B	主催者控室A	主催者控室B	合計
定員	456	20	20	6	6	
年間利用可能日数	285	308	308	308	308	
最大人数※1	129,960	6,160	6,160	1,848	1,848	145,976
稼働率※2	91.23%	37.34%	28.57%	24.35%	23.05%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

※2 稼働率については、「利用があった日数」/「年間利用可能日数」により算出

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	自主事業の参加者にアンケート用紙を配布し回収、分析する。	「どちらかといえば満足」以上が昨年より増え85.4%となり、多くの来館者に好感をもたれている。

[施設としての総合的評価]

質問内容 当センターの全体的な印象をお聞かせください。

実施した調査の配布方法 参加者に直接配布 回収数/配布数 1,549 / 3,814 = 40.6%

配布(サンプル)対象 自主事業参加者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	504	634	189	6	0	1,333	①清掃などが行き届いて清潔である ②明るい印象でよい
回答率	37.8%	47.6%	14.2%	0.5%	0.0%		
前年度の回答数	437	530	184	2	0	1,153	
前年度回答率	37.9%	46.0%	16.0%	0.2%	0.0%		
回答率の対前年度比	99.7%	103.5%	88.8%	250.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 職員の対応はいかがですか。

実施した調査の配布方法 参加者に直接配布 回収数/配布数 1,549 / 3,814 = 40.6%

配布(サンプル)対象 自主事業参加者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	483	571	280	8	2	1,344	①従業員の対応が良い ②チケット購入の際、手際が悪かった
回答率	35.9%	42.5%	20.8%	0.6%	0.1%		
前年度の回答数	406	496	263	5	1	1,171	
前年度回答率	34.7%	42.4%	22.5%	0.4%	0.1%		
回答率の対前年度比	103.5%	100.2%	92.4%	150.0%	200.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	79,955	6,400	525	コピー代等サービス代金雑収入	86,880	86,880	0	100.00%
	決算	79,955	6,021	204	コピー代等サービス代金雑収入	86,180	79,415	6,765	108.52%
前年度	当初予算	82,137	6,685	540	コピー代等サービス代金雑収入	89,362	89,362	0	100.00%
	決算	82,137	6,347	195	コピー代等サービス代金雑収入	88,679	79,380	9,299	111.71%
27年度	当初予算	82,037	6,785	540	コピー代等サービス代金雑収入	89,362	89,362	0	100.00%
	決算	82,037	6,267	176	コピー代等サービス代金雑収入	88,480	88,480	0	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

平成26年度からの当初予算額については、消費税率の引上げに伴い、平成22年度の提案額(5%)を消費税8%に換算している。

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成27年8月～ 平成28年3月	3,831	多目的ホール舞台機構天井反射板用パワーシリンダ交換工事(1,707千円)、車いす使用者用駐車区画改修工事(396千円)、非常用直流電源盤蓄電池交換工事(1,728千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1,000千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

該当なし

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。